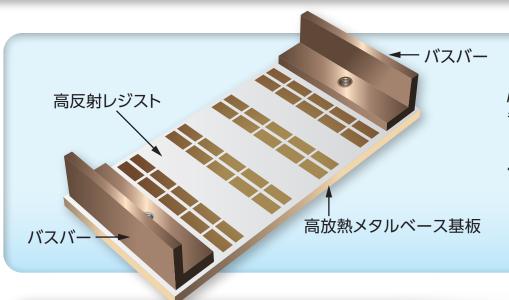
大電流対応基板



一般的な基板は、 35μ mの銅箔が使われていますが、厚銅箔 (105 μ m以上)を使うことで大電流に対応したパターンを形成する事ができます。

大電流を流す事で必然的に発熱量も大きくなるため、基材にメタル ベースを使う事で、高放熱を実現しています。

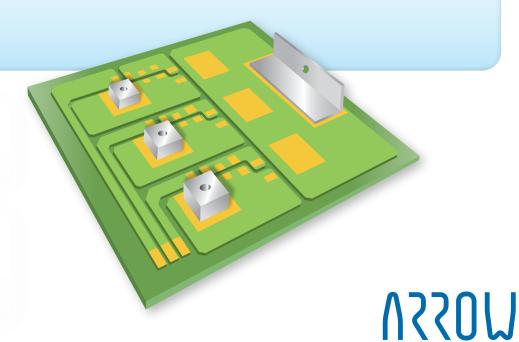
厚銅基板とも呼ばれ、産業用ロボットやEV用途に使われています。

特徴

- ●大電流対応
- ●高放熱

用途

- ●大電流対応LEDモジュール
- ●ロボット関連
- ●電気自動車 など



INDUSTRY